

はち まる にい まる
8020



第 22号

発行：静岡県8020推進住民会議
事務局 静岡県歯科医師会
〒422-8006 静岡市駿河区曲金3-3-10
TEL (054) 283-2591
編集：8020運動推進部

推進員だより

「平成24年度

8020推進・静岡県大会 in 浜松」が

開催されました。

平成25年1月24日(木)に8020推進静岡県大会 in 浜松が「はっぴースマイル8020」をテーマにアクトシティ浜松で開催されました。今大会は浜松市、磐田市、袋井市、湖西市、森町の5市町と浜松市、磐周、浜名の3つの歯科医師会に後援をいただき、会場までの案内や受賞者の誘導などに多大な協力をいただき、3時間という限られた時間を来場者の皆さんに楽しんでもらうことができました。



第1部の式典は、白井嘉尚静岡県8020推進住民会議会長の開会の辞に始まり、池谷享士県健康福祉部長、飯嶋理県歯科医師会会長、小楠和男県議会議長(代読)の挨拶と後援5市町を代表し鈴木康友浜松市長(古橋利広副市長代読)に祝辞をいただきました。

続いて、8020県民表彰をはじめ、8020童話賞などの表彰が行われました。(詳細は裏面掲載)県知事賞を受賞された小野田節雄さんが背筋をのびし表彰状を受け取り「86歳で32本の健康な歯をお持ちです」と紹介されると会場は感嘆の声に包まれました。

8020運動は、受賞者の皆さんのようにしっかりと噛める歯でよく噛んで、多くの人が元気に過ごすことを目的にした運動です。8020童話最優秀賞の小学校1年生奥村歩未さんの

作品は、子供の頃から歯を大切にしていって8020を達成するという強いメッセージを伝えてくれました。

第2部は、8020活動報告がJAとびあ浜松女性部湖西地区支部と浜北の健康をささえる会「すこやか」によって行われました。

県西部地区は8020推進活動がまだまだ多くのの人に知れ渡っていないのが現状ですが、今日の報告のように頑張った活動を続ける人の輪を大きく広げていきたいと思いました。



宝田先生の講演では、参加者から二人を指名し舞台上で実際に咀嚼エクササイズを行い、猫背の改善と正しい咀嚼を教えていただきました。舌で口輪筋を伸ばすエクササイズ、ひーふーみー体操などの説明があり、観客を引き込む宝田マジックが炸裂したユニークかつ楽しい講演でした。

結びの前に、次年度大会が開催される静岡市を代表して、小澤照雄静岡歯科医師会会長による決意表明があり、三浦正人静岡県薬剤師会副会長による閉会の辞で8020推進静岡県大会 in 浜松は滞りなく幕を閉じました。

予告

「平成25年度 8020推進・静岡県大会」開催

日時：平成26年2月15日(土) 13:00～

会場：グランシップ「交流ホール」(静岡市駿河区池田79-4)



「8020推進静岡県大会in浜松」
表彰者の皆様

【各表彰・受賞者】

8020県民表彰 (10名)

小杉仁子 (伊東市), 大久保房子 (熱海市), 窪田熊雄 (三島市), 木村 進 (沼津市), 原科 銈 (静岡市駿河区), 岡村 鋼 (藤枝市), 大石速美 (牧之原市), 加藤重夫 (菊川市), 小野田節雄 (磐田市), 伊藤かずえ (浜松市中区)

8020推進財団理事長賞 (10名)

村上孝宏 (伊豆の国市), 寺本すや子 (伊東市), 野中 忠 (三島市), 小野忠道 (長泉町), 赤池 晋 (富士市), 袴田八千代 (静岡市葵区), 白鷺健一 (藤枝市), 木村長治 (森町), 寺田文子 (浜松市中区), 和田恭二 (湖西市)

8020童話賞 (6名)

〈児童・生徒の部〉

最優秀賞: 奥村歩未 (浜松市立萩丘小学校1年生)

優 秀 賞: 小川陽向 (焼津市立豊田小学校3年生)、宮崎未悠 (静岡県西遠女子学園中等部2年生)

〈一般の部〉

最優秀賞: 谷 真奈 (主婦)

優 秀 賞: 水野裕世 (主婦)、大村清美 (学校教員)

ハッピースマイルフォトコンテスト賞 (3名)

特 選: 「満面な笑み」鈴木真知子

準特選: 「できたーあ。」栗田百合子、「笑顔」松本幸男



8020 活動報告

表彰の後、8020活動報告をしていただきました。はじめにJAとびあ浜松女性部、湖西地区の谷町光子支部長が「農業を通じて食と命の大切さを伝えたい」と題して平成13年から地元の小中学生や幼稚園の子ども達と行っている「食と農が育む体験学習運動」の様子の発表です。

地域によって、さつまいも、たまねぎ、落花生など様々な作物が栽培されているようです。その中で湖西地区では大豆栽培を行っており、6月の種まきに始まり、夏休みには汗びっしょりの草取りを経験し、11月に収穫が行われます。1週間、乾燥した後の脱穀作業が一番大変で、冷たい風の吹く中、運動場でさやから実を取り出す作業は思った以上の重労働なのだそうです。苦労して脱穀した大豆をきなこ飴に加工して農協祭で販売したり、味噌作りを行うことで子ども達にとっては目の輝く体験になっています。

おり、体験をした子ども達だけでなく、このようなことを伝えていくことが農協の女性部らしい大切な活動となっているようです。

つぎに浜北の健康をささえる会「すこやか」の岡本正枝会長をはじめとするみなさんで、お口の体操を元氣よく披露して頂きました。多くのレパトリーの中から今回の県大会のために、童謡「むすんでひらいて」の曲にあわせて、80才で20本の歯を残すためのフェイシャルトレーニングができるようになっていました。

平成12年8月に発足され誰でもできる健康体操で「楽しく学んで笑顔で健康づくり」を合い言葉に活動されてきたそうです。

体操だけでなく会員49名が連携をとりながら力を持ち合わせ、絵手紙クラブ、指人形劇「友遊クラブ」、ウォーキングクラブ、ボールンアート、折り紙、布のリサイクルと足への健康を期待した布ぞうり部と全年齢に向け活動の幅が広がっているそうです。

「すこやか」会員の皆さんの若さと元気の伝わるとても楽しい報告でした。